

2016年 **8**月 つるがしま里山サポートクラブ活動案内

平成 28 年 7 月 25 日(月)

小澤邦彦

まもなく梅雨明けの暑い季節となりますが、わがクラブに良報があります。

「平成 28 年度埼玉県 NPO 活動促進助成事業」に申請していました「大谷川・飯盛川と市民の森整備事業」が認可されました。主な申請内容は次の通りです。

1. **緑と川の再生事業**：既計画の飯盛川、大谷川の活動と重ねて実施する予定。
合計 6 回の活動 (21 万円)
2. **高倉市民の森植物調査**：オオムラサキでお世話になっている伊藤さんをお願いし、植物図鑑を作る。(20 万円)
3. **里山のヒートアイランド効果の測定**：これまで「市民情報連絡会」が実施してきた気温調査は昨年までは、助成金があったが、本年度からは、独自事業となったことから里山の活動効果実証として、この活動の継続を支援することとし、体系的・継続的な仕組みを構築する。(38 万円)
4. **その他**：橋の整備(30 万円)、備品整備(13 万円)、印刷費(2 万円)

今後、上記活動の具体化に向けた様々な取り組みを実行することになります。多くの皆様の活動への参加をお願いします。

◇ 8月のクラブ実施内容は以下のとおりです。

◎ 五味ヶ谷市民の森整備

☆ 活動日時 : 8月13日(土) 9時00分～12時

☆ 参加目的・意義

この時期の夏草の成長は早く、かなり伸びている状況なので、森全体の下草刈りを行い、市民の皆さんの散策コースを整備します。社協が実施する夏のボランティア体験会場ともなっているので参加するボランティアの方にも気持ちのいい汗をかいてもらいます。

☆ 当クラブの具体的実施事項・内容

- 刈払機で下草刈りを実施しますが、参加者が多い場合は、藤金倉庫よりハンマーナイフを運搬し、稼働させます。
- ボランティアの方にはゴミ拾いと刈払機を体験してもらいます。
- 今回は竹林以外を中心としますが、竹林内の篠伐採や曲がっている竹は整備します。(ウッドチップパーは運搬しません。)

☆ 集合場所 : 東市民センター裏の五味ヶ谷市民の森内広場

- ☆ 駐車場所 : 東市民センター駐車場
- ☆ 昼食 : おにぎりを用意します。(氷アイスも)
- ☆ 総括責任者 : 佐野

◎ 高倉市民の森整備 (橋の修理等)

- ☆ 活動日時 : 8月28日(日) 9時00分～15時
- ☆ 参加目的・意義

高倉市民の森の飯盛川に架かる橋は、当クラブが10年ほど前より設置したものであり、飯盛川の側道散策路として市民の皆さんに親しまれてきた橋です。特にホタルの時期は暗い中を渡る木造橋であり、事故が起きないように補修を繰り返してきましたが、橋げたの朽木・老朽化が激しく大改修の時期にきています。

前述したように、県からの助成金がこのたび得られたので橋の基礎部分を強固なものにし、長期間利用できるよう改修します。

また、社協が実施する夏のボランティア体験会場となりますので、ボランティアの参加者には森整備を体験してもらいます。

- ☆ 当クラブの具体的実施事項・内容

- 夏に生育した下草をハンマーナイフ・刈払い機で刈り取る。
- 森周辺の清掃活動
- 植樹した桜への蔓取り
- 橋の修繕には材料(ガードレール、角材、板、単管、金具等30万円程度を事前購入)と各種工具(発電機、電動のこ、電動グラインダー、インパクトビス等)を駆使し施工します。
- かなりの専門工事となるため、シルバー人材センターより応援要員をお願いする。
- 改修対象の橋は2つあるが、取り組み経過によっては予備日を設ける。

- ☆ 集合場所 : 高倉の森内飯盛川沿いのおかねが井戸近くの広場
- ☆ 駐車場所 : 池尻池駐車場(飯盛川沿いの散策路を通過して広場へ)
新所沢変電所東側道路(飯盛川寄りの側道から広場へ)
- ☆ 昼食 : おにぎりを用意します。(氷アイスも)
- ☆ 総括責任者 : 牛島

里山データ

NO 2016-4

木工所（木工班の活動）

1. 設置場所

藤小学校裏のシルバー人材センター内。シルバー人材センターの好意で、各種木工機械を設置し、作業場所としています。

2. 設置の経緯

2009年、セブンイレブンみどりの基金の助成を受け、木工機械の整備が始まりました。吉田さん（里山クラブ監査役）の好意で、吉田さんの作業所（鶴ヶ島市上新田；前山団地と東電変電所の間）の一部を借用し、単管パイプで仮設の作業所を作り木工所とし、木工機械を設置しました。

2010年5月8日に、完成披露パーティーを行い、里山整備活動の中で発生する木材や竹材を使った、おもちゃ、パズル、まな板などの作製が始まりました。

2013年春、木工所の土地が売却されることになり、木工所を移転することになりました。紆余曲折がありましたが、最終的に、藤小学校裏のシルバー人材センター内に木工所を移転し現在に至っています。

3. 所有木工機械

製材機、木工旋盤（2台）、木工用糸のこ盤（3台）、電動丸ノコ（2台）、電気カンナ、自動カンナ盤、卓上ボール盤（2台）、ベルトサンダー、オービタルサンダー、電動彫刻刀、ジグソー、エンジン発電機、エアコンプレッサーなどを所有しています。機器リスト、機器台帳と取扱説明書は木工所に保管されています。消耗品の予備（刃物、研磨布など）もあります。

4. これまでの活動

当初は、年間約20日、延べ作業員約40名の活動実績でしたが、最近では低調です。活動の実績としては、桐材、エンジュ材、竹材などで、まな板 おもちゃの自動車、パズル、花器（竹材）などを作成し、一部は産業祭りなどで販売しました。

5. 今後の活動

製材機で、厚板や角材を作り、ベンチやテーブルを作製し、市民の森に設置する。また、竹材による、ベンチやテーブルの作製も検討し、さらに、会員の日曜大工の場としても利用していきたい。

6. 利用上の注意事項

- (1) 安全第一のため、特に製材機は一人作業を禁止します。
- (2) 作業の終了後は、使用機器の清掃、点検、整備等を行い、不具合、故障、補充すべき部品などを木工班作業日誌に記入する。
- (3) 木工所内外の整理整頓清掃を行い、火の元を確認して施錠する。

7. その他

木工班作業日誌、機器リスト、機器台帳は「つるがしま里山サポートクラブ」のホームページ（会員情報）に掲載しています。（作成：佐野）